

LaON LT150 簡易取扱説明書

LaON Technology LT150 MOBILE System



● はじめに

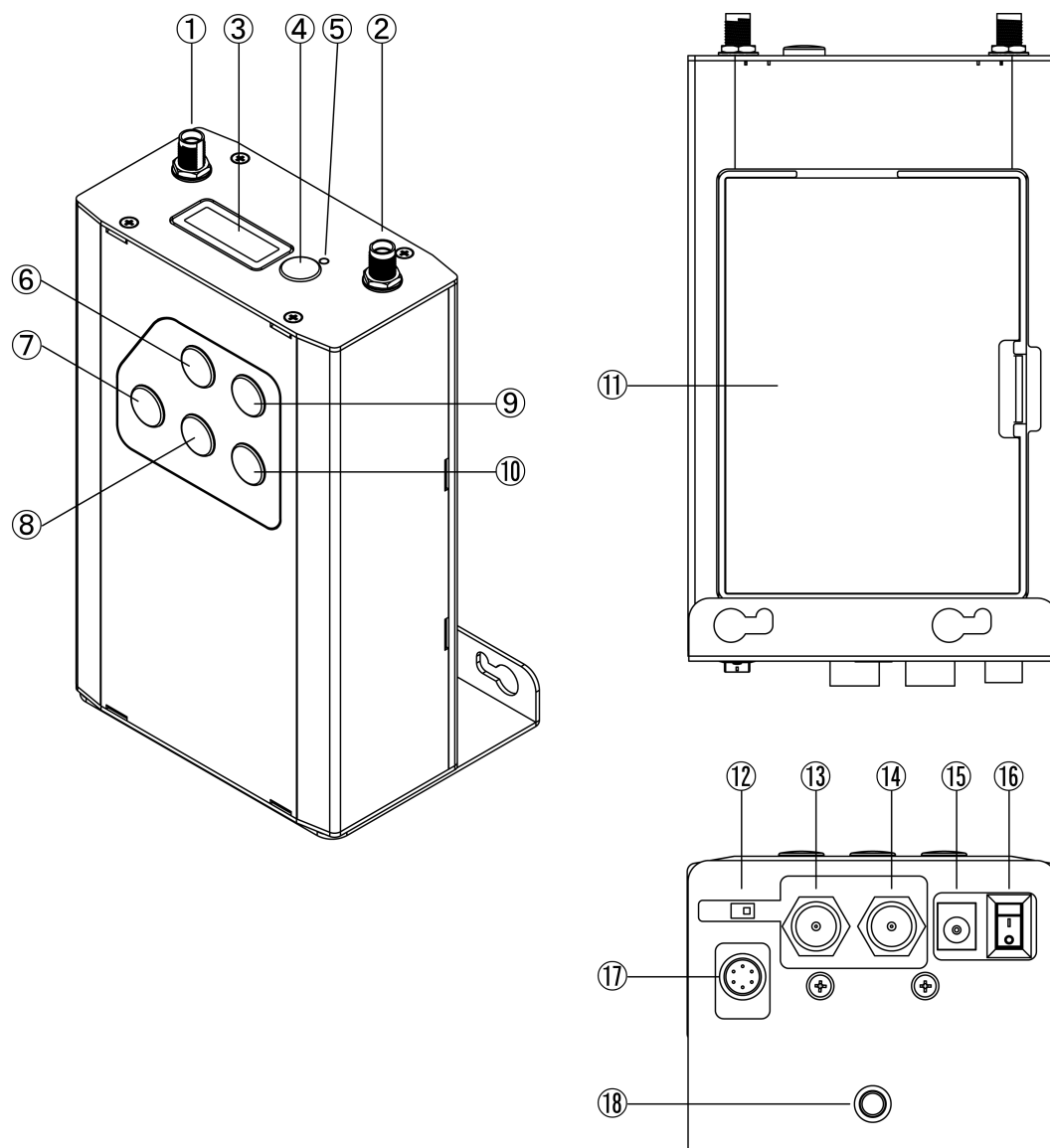
ワイヤレスインターカムは子機（ベルトパック）を親機（モバイルステーション）に登録設定済みです。
グループ1と2を切替えて同じグループに設定された機器同士で通信することが出来ます。

ベルトパックのディスプレイに表示されるグループ番号をご確認ください。

ディスプレイが消灯している場合は、「TALK」と「PWR」以外のいずれかのボタンを押すと表示されます。
システム全体でベースステーションを含む5台までの同時双方向通話が可能です。

● モバイルステーション(親機)の操作

各部の説明



- ① アンテナコネクタ-1
- ② アンテナコネクタ-2
- ③ ディスプレイ
- ④ Talk(トーク)ボタン

ヘッドセットコネクタ⑰に接続されたヘッドセットでトーク、およびAUX INコネクタ⑬に入力された音声を送信するとき使用します。

- ⑤ LED

モバイルステーションの動作状態を表します。(P.4 モバイルステーションのLED表示参照)

⑥ GRP（グループ）ボタン

通信グループを変更するときに使用します。AUX IN/OUTの通信グループも同時に変更されます。

⑦ PWR（パワー）ボタン

電源を入れるとき、操作ロックおよびペアリングをするときに使用します。

⑧ SET（セット）ボタン

各種設定に使用します。

⑨ △(アップ)ボタン

⑩ ▽(ダウン)ボタン

各種設定に使用します。

ノーマルメニューではヘッドセットのリッスンボリュームを操作できます。

⑪ バッテリーカバー

⑫ AUX INレベルセレクトスイッチ

AUX INコネクターのインプットゲインを設定します。

有線インターカム等と接続するときは“LINE”、マイクを接続するときは“MIC” に設定してください。

⑬ AUX INコネクター

⑭ AUX OUTコネクター

⑮ 電源コネクター

⑯ 電源スイッチ

⑰ ヘッドセットコネクター

ヘッドセットを接続します。

⑱ スタンド取付ビス穴(1/4インチ)

- **ボタン操作について**

モバイルステーションのボタン操作には次の2つを使用します。

- タップ**

- ボタンを押してすぐに離します。

- ホールド**

- ボタンを押し続けます。

- **電源の入れ方**

動作電源にはACアダプター、またはR6(単3型/AA)電池6本を使用します。

- ACアダプター**

- 付属の専用ACアダプターを電源コネクターに接続します。

- R6(単3型/AA)電池**

- 付属のバッテリースレッドに乾電池または充電電池をセットし、バッテリーカバー内に挿入します。

底面の電源スイッチをONにし、PWRボタンを3秒以上ホールドすると電源が入ります。このときヘッドセットが接続されている場合は“Power on”という音声メッセージが流れます。

電源を入れるとディスプレイに“DFS Detecting”と表示され、60秒間周波数スキャンを行います。スキャン中はLEDが赤く点滅します。



スキャンが終わるとLEDが緑色に変わり、ゆっくり点滅します。ディスプレイにはノーマルメニューが表示されます。

- **電源の切り方**

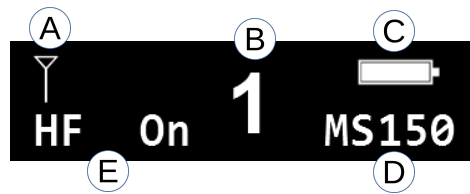
底面の電源スイッチをOFFにします。

- **リッスンボリュームの設定**

△▽ボタンをタップするとヘッドセットのリッスンボリュームを設定できます。

・ノーマルメニューのディスプレイ表示

電源を入れるとディスプレイに下記のようなノーマルメニューが表示されます。



- ① モバイルステーションモードで動作しているときは常に  と表示されます。ベルトパックモード（P.6 Select Mode参照）で動作しているときは受信している電波の強さを表示します。
- ② モバイルステーションの通信グループを表示します。
- ③ モバイルステーションのバッテリーレベルを表示します。ACアダプターが接続されているときは常にフル表示となります。
- ④ モバイルステーションのモデル名を表示します。モバイルステーションの操作がロックされているときは“LOCK”と表示します。ベルトパックモードで動作しているときはBS750で設定したラベルが表示します。
- ⑤ Hands Freeメニューで設定されている操作モードを表示します。ハンズフリーモードのときは“HF On”、PTTモードのときは“HF Off”と表示されます。

しばらく操作を行わないとディスプレイはスリープモードに入り消灯します。復帰させるときは「Talk」または「PWR」以外のいずれかのボタンをタップしてください。

・モバイルステーションのLED表示

緑色で点滅

選択されたグループでリッスンのみを行っています。

緑色で点灯

選択されたグループにトークしています。

赤色で点滅（ベルトパックモードのみ）

ベースステーションやリモートステーションのカバーエリア外です。
もしくはベースステーションとまだペアリングが行われていません。

赤色で点灯

バッテリーレベルが低くなっています。

・モバイルステーションの操作ロック

△、▽、Talk以外のボタン操作をロックすることができます。

ロックをするには、PWRボタンをホールドし、すぐにGRPボタンをタップします。

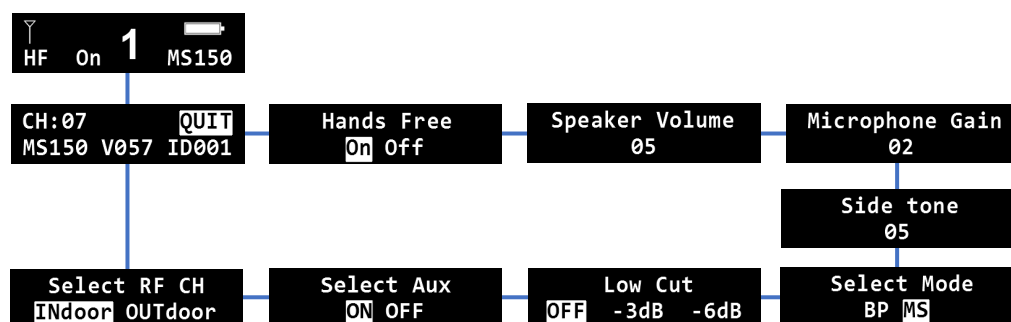
（ディスプレイ右下に“LOCK”と表示されます。）

ロックを解除するには、再びPWRボタンをホールドし、すぐにGRPボタンをタップします。
(ディスプレイ右下にモバイルステーションのモデル名が表示されます。)

• メインメニューの操作

ディスプレイにノーマルメニューが表示されている状態でSETボタンをタップすると下記のメインメニューが表示されます。

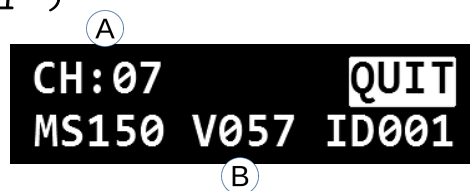
メインメニューの構成は以下の通りです。各メニューは△▽ボタンで切り替わります。



設定を行いたい画面でSETボタンをタップすると△▽ボタンで値を変更できます。変更した値を決定するときは再度SETボタンをタップします。

メインメニュー操作中はPWRボタンをタップするとノーマルメニューに戻ります。

• Main Menu (メインメニュー)



- Ⓐ 使用している周波数のIDを表示します。IDに対応する周波数はP.9をご確認ください。
- Ⓑ モバイルステーションのモデル名、ファームウェアバージョンを表示します。IDは常に“001”と表示されます。

• Hands Free (ハンズフリー)



Talkボタンの動作を設定します。ハンズフリーモードの設定にかかわらずTalkボタンは押している間だ

けトーク状態が維持されます(プッシュ・トゥ・トーク)。

ハンズフリーモードを“On”に設定するとTalkボタンをタップすることによりトーク状態をロックすることができます(ハンズフリーモード)。

Talkボタンをもう一度タップするとロック解除されます。

- Speaker Volume (スピーカーボリューム)

Speaker Volume
05

ヘッドセットのスピーカーボリュームを00～09の値で設定します。

最大音量で“Maximum(マキシマム)”、最小音量で“Minimum(ミニマム)”と音声メッセージが流れます。Speaker Volumeはノーマルメニュー画面で△▽ボタンを使って設定することもできます。

Select Auxが“ON”になっているときはAUX OUTのレベルにも反映されます。

- Microphone Gain (マイクゲイン)

Microphone Gain
02

ヘッドセットのマイクゲインを00～08の値で設定します。

最大音量で“Maximum”、最小音量で“Minimum”と音声メッセージが流れます。

Select Auxが“ON”になっているときはAUX INのレベルにも反映されます。

- Side Tone (サイドトーン)

Side tone
05

サイドトーンレベルを00～08の値で設定します。

最大音量で“Maximum”、最小音量で“Minimum”と音声メッセージが流れます。

- Select Mode (セレクトモード)

Select Mode
BP MS

ベルトパックモードの設定をします。設定を変更するとモバイルステーションは自動的に電源が切れます。

このメニューでBPに設定したモバイルステーションはLT750システムのベルトパック(子機)として動作します。詳しくは「LT150 MOBILE デジタルワイヤレスインターカムシステム 操作説明書」をご確認ください。

- Low Cut (ローカット)



ヘッドセットマイクのローカット(ハイパスフィルター)を設定します。

- Select Aux (セレクトAux)

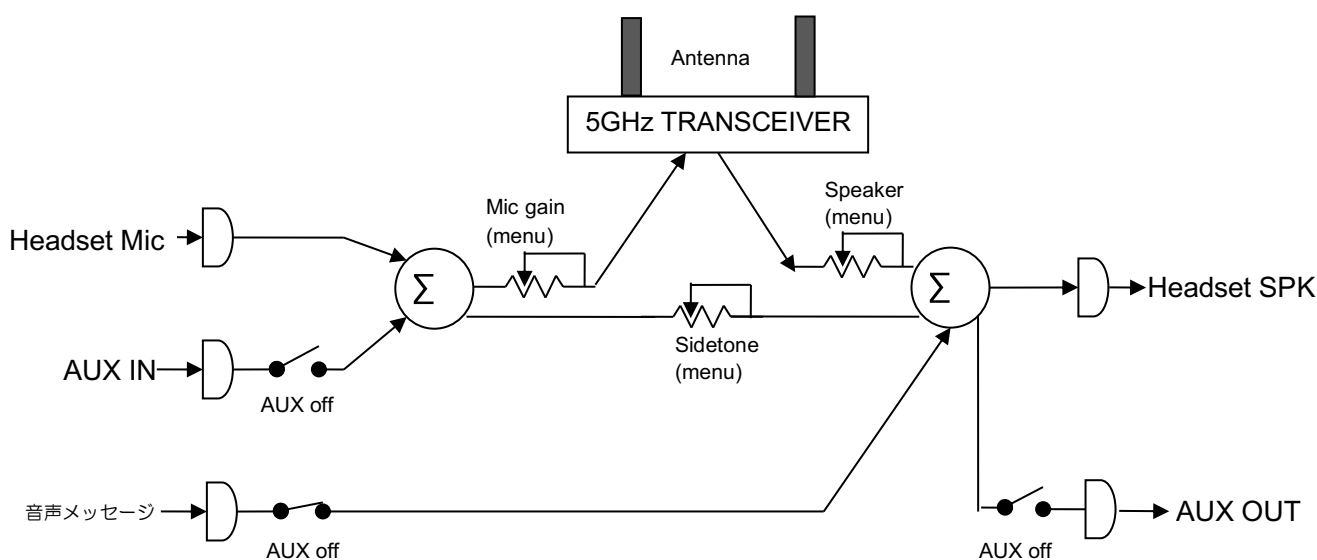


AUX IN/OUTの機能を設定します。

ON: AUX IN/OUTコネクタの入出力が有効になります。Microphone Gainで設定した値がAUX INレベルに、Speaker Volumeで設定した値がAUX OUTレベルにそれぞれ反映されます。

システムの音声メッセージはOFFになります。

OFF: AUX IN/OUTコネクタの入出力が無効になります。



Select RF CH（セレクトRFチャンネル）



モバイルステーション起動時に、選択される周波数の範囲を設定します。

屋外で使用する場合は必ず“OUTdoor”に設定してください。設定を変更するとモバイルステーションは自動的に電源が切れます。

• AUX機器との接続

AUX機器との接続にはAUX IN/OUTコネクタを使用します。

AUX INレベルセレクトスイッチはAUX INコネクタに接続する機器のレベルに合わせて設定してください。

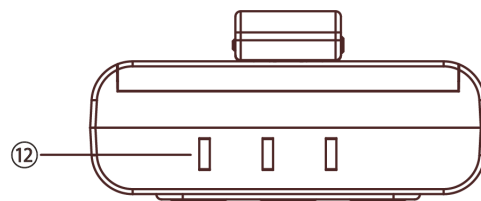
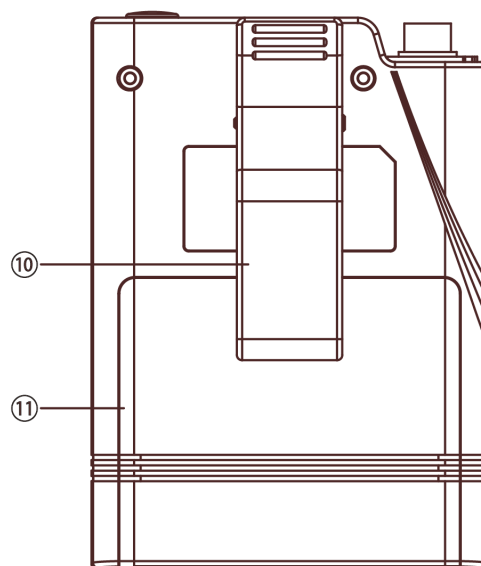
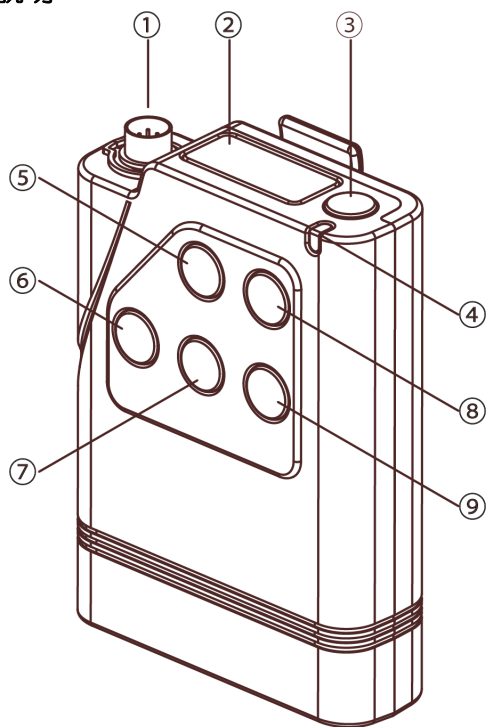
ON/OFFはAUX Selectメニューで設定します。“ON”に設定するとAUX IN/OUTコネクタの入出力が有効になり、Talkボタンの操作でAUX INの音声をベルトパックに送信することができます。AUX INとAUX OUTのレベルはMicrophone GainとSpeaker Volumeメニューで設定した値が反映されます。

• チャンネルID対応周波数

チャンネルID	周波数(MHz)		
2	5180	Indoor (屋内モード)	OUTdoor (屋外モード)
3	5200		
4	5220		
5	5240		
6	5260		
7	5280		
8	5300		
9	5320		
12	5500		
13	5520		
14	5540		
15	5560		
16	5580		
17	5600		
18	5620		
19	5640		
20	5660		
21	5680		
22	5700		

● ベルトパック(子機)の操作

・各部の説明



① ヘッドセットコネクター

ヘッドセットを接続します。

② ディスプレイ

③ TALK(トーク)ボタン

トークをするときに使用します。

④ LED

ベルトパックの動作状況を表します。(P.XX ベルトパックのLED表示参照)

⑤ GRP(グループ)ボタン

通信グループを変更するときに使用します。

⑥ PWR(パワー)ボタン

電源の入切、操作ロックをするときに使用します。

⑦ SET(セット)ボタン

各種設定に使用します。

⑧ △(アップ)ボタン

⑨ ▽(ダウン)ボタン

各種設定に使用します。

ノーマルメニューではヘッドセットのリッスンボリュームを操作できます。

- ⑩ ベルトクリップ
- ⑪ バッテリーカバー
- ⑫ 充電端子(ベルトパック底面)

• ボタン操作について

ベルトパックのボタン操作には次の2つを使用します。

タップ

ボタンを押してすぐに離します。

ホールド

ボタンを押し続けます。

• 電源の入れ方

PWRボタンを3秒間以上ホールドすると電源が入り、LEDが赤く点滅します。このときヘッドセットが接続されている場合は“Power on”という音声メッセージが流れます。

電波を受信し通話が可能になるとLEDが緑色に変わり、ゆっくり点滅します。

• 電源の切り方

PWRボタンを2秒ほどホールドすると電源が切れ、LEDが消灯します。ヘッドセットが接続されている場合は“Power off”と音声メッセージが流れます。

• モバイルステーション(親機)への接続

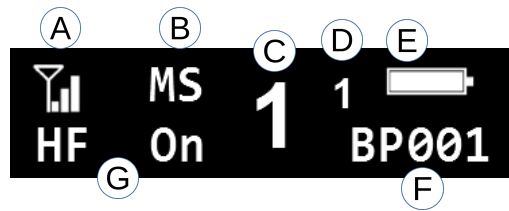
ベルトパックの電源を入れると自動的にモバイルステーションと通信を行います。

• リッスンボリュームの設定

△▽ボタンをタップするとヘッドセットのリッスンボリュームを設定できます。

・ノーマルメニューのディスプレイ表示

電源を入るとディスプレイに下記のようなノーマルメニューが表示されます。



- (A) 受信している電波の強さを表示します。
- (B) 接続しているモバイルステーションを表示します。
- (C) 選択されている通信グループを表示します。
- (D) Select BS で選択されているモバイルステーション番号を表示します。
- (E) バッテリー残量を表示します。
- (F) ベルトパックのラベルを表示します。ベルトパックの操作がロックされているときは“LOCK”と表示されます。
- (G) Hands Freeで設定されている操作モードを表示します。ハンズフリーモードのときは“HF On”、PTTモードのときは“HF Off”と表示されます。

しばらく操作を行わないとディスプレイはスリープモードに入り消灯します。復帰させるときは「TALK」または「PWR」以外のいずれかのボタンをタップしてください。

・ベルトパックのLED表示

緑色で点滅

選択されたグループでリッスンのみを行っています。

緑色で点灯

選択されたグループにトークしています。

赤色で点滅

モバイルステーションのカバーエリア外です。

もしくはモバイルステーションとまだペアリングが行われていません。

赤色で点灯

バッテリーレベルが低くなっています。

• ベルトパックの操作ロック

△、▽、PWR、TALK以外のボタン操作をロックすることができます。

ロックをするには、PWRボタンをホールドし、すぐにGRPボタンをタップします。

（ディスプレイ右下に“LOCK”と表示されます。）

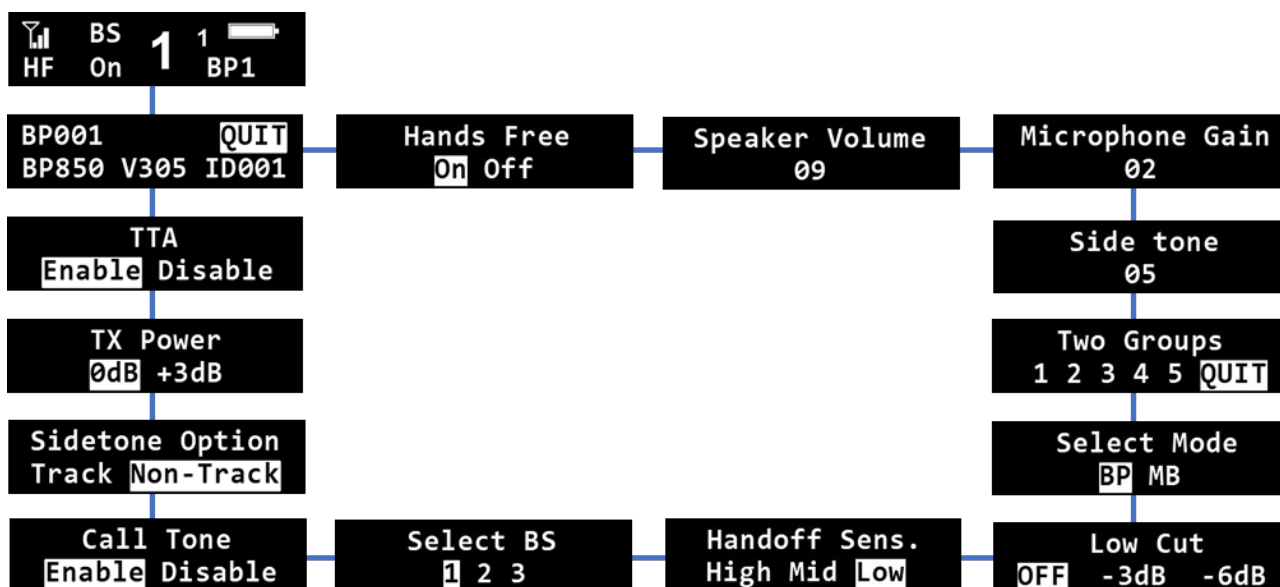
ロックを解除するには、再びPWRボタンをホールドし、すぐにGRPボタンをタップします。

（ディスプレイ右下にベルトパックのラベルが表示されます。）

• メインメニューの操作

ディスプレイにノーマルメニューが表示されている状態で SET ボタンをタップすると下記のメインメニューが表示されます。

メインメニューの構成は以下の通りです。各メニューは△▽ボタンで切り替わります。



設定を行いたい画面で SET ボタンをタップすると△▽ボタンで値を変更できます。変更した値を決定するときは再度 SET ボタンをタップします。

メインメニュー操作中は PWR ボタンをタップするとノーマルメニューに戻ります。

• Main Menu（メインメニュー）



(A) ベルトパックのラベルを表示します。

(B) ベルトパックのモデル名、ファームウェアバージョン、ID（ベースステーションが認識しているベルトパックの番号）を表示します。

- Hands Free（ハンズフリー）



TALK ボタンの動作を設定します。ハンズフリーモードの設定にかかわらず TALK ボタンは押し
ている間だけトーク状態が維持されます（プッシュ・トゥ・トーク）。

ハンズフリーモードを“On” に設定すると TALK ボタンをタップすることによりトーク状態をロ
ックすることができます（ハンズフリーモード）。TALK ボタンをもう一度タップするとロック解
除されます。

- Speaker Volume（スピーカーボリューム）



ヘッドセットのスピーカーボリュームを 00～10 の値で設定します。

最大音量で“Maximum（マキシマム）”、最小音量で“Minimum（ミニマム）”と音声メッセ
ージが流れます。Speaker Volume はノーマルメニュー画面で△▽ボタンを使って設定すること
もできます。

- Microphone Gain（マイクゲイン）



ヘッドセットのマイクゲインを 01～08 の値で設定します。

最大音量で“Maximum”、最小音量で“Minimum”と音声メッセージが流れます。

- Side tone（サイドトーン）



サイドトーンレベルを 00～08 の値で設定します。

最大音量で“Maximum”、最小音量で“Minimum”と音声メッセージが流れます。

• Two Groups（2グループモード）



Two Groups モードでは選択された 2 つのグループを同時にリッスンすることができます。1st GRP（若番グループ）へのトークは TALK ボタン、2nd GRP（老番グループ）へのトークは GRP ボタンを使用します。また、2 つのグループへ同時にトークすることも可能です。

Two Groups モードを設定するときは、設定したいグループにカーソルを合わせて SET ボタンを

押し、2 つのグループを選択した後に QUIT にカーソルを合わせて SET ボタンをタップします。

Two Groups モードを解除するときは、選択されているグループを解除した後に QUIT にカーソルを合

わせて SET ボタンをタップします。

Two Groups モードでの LED 表示は次の通りです。

緑色で点滅

リッスンのみを行っています。

緑色で点灯

1st GRP（若番グループ）にトークしています。

オレンジ色で点灯

2nd GRP（老番グループ）にトークしています。

オレンジ色で点滅

1st GRP、2nd GRP 両方にトークしています。

Two Groups モードでは常時、選択された 2 つのグループを同時にリッスンします。

Two Groups モード動作時は、Speaker Volume メニューにて 1st GRP、2nd GRP のレベルを個別に調整することができます。



Normal メニューで△▽ボタンを操作すると、レベル差を保ったまま 2 つのグループのレベルを同時に操作することができます。

- Select Mode（セレクトモード）



マスターベルトパックモードの設定をします。

このメニューでMBに設定したベルトパックは、ベースステーションがない環境でもモバイルステーションのように動作をし、他のベルトパックと通信ができるようになります。

通信ができるのは同じベースステーションでペアリングがされたベルトパック同士となり、Select BSメニューでも同じベースステーションを選択しておく必要があります。

このメニューでモードの変更を行うと自動的に電源が切れます。マスターベルトパックは電源を入れるたびにDFS Detectingを60秒行い、起動後はノーマルメニューの右下に“MB”と表示されます。



MBに設定されたベルトパックはTwo Groups、Handoff Sens、Select BS、Call Tone、TTAメニューは表示されません。

マスターベルトパックモードでの同時通話数の合計はMBを含め5台、通信グループは1です。

- Low Cut（ローカット）



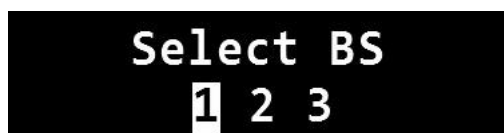
ヘッドセットマイクのローカット（ハイパスフィルター）を設定します。

- Handoff Sens.（ハンドオフセンス）



ベースステーション/リモートアンテナ/リピーターのカバーエリアを自動で切り替える感度を変更します。カバーエリアが近接している場合、エリア間での切り替えをスムーズにするためには、“High”もしくは“Mid”を選択してください。

- Select BS（セレクト BS）



通信を行うベースステーションを変更します。通信を行うときは白いブロックの番号からいずれか一つを選択してください。

ベルトパックはペアリング先のベースステーションを3台まで登録でき、ペアリングを行うと番号が白いブロックに変化します。

- Call Tone（コールトーン）



コールトーンのオン/オフ設定を行います。“Disable”に設定するとコールトーン機能が無効になります。

- Sidetone Option（サイドトーンオプション）



サイドトーンのオプションを設定します。

Track

サイドトーンはマスターボリュームの設定に追従して変化します。

Non-track

サイドトーンはマスターボリュームの設定にかかわらず、サイドトーンメニューで設定した値に固定されます。

- TX Power（TX パワー）



ベルトパックの送信電力を2段階で設定します。“+3dB”で最大の出力に設定されます。ベルトパックの“+3dB”はベースステーションの0に相当する設定で認証されている最大値です。ベースステーションのTXパワーの設定については「GCM 操作マニュアル」をご確認ください。

- TTA（トークトゥオール）



TTA の設定を行います。

Enable

TTA が有効になります。

トークキーを 2 秒以上ホールドすると TTA がオンになり、ベルトパックに割り当てられた全てのグループへ同時にトークします。トークキーを離すと TTA がオフになります。

TTA 中は LED が赤く点灯します。

TTA を有効にすると Hands Free メニューの設定にかかわらず通常のトークはハンズフリーモードでの動作となります。

TTA は Two Groups モードでも動作します。

Disable

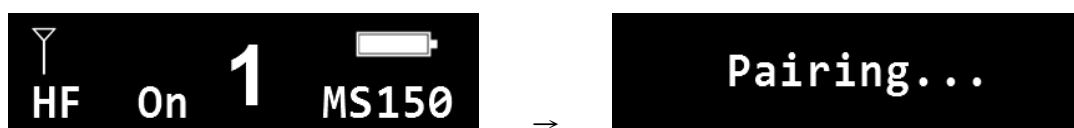
TTA が無効になります。

● ペアリング操作について

システムにベルトパックを新たに追加する際はベルトパックの登録(ペアリング)が必要となりますので、以下の通り行って下さい。モバイルステーション1台あたり128台までのベルトパックを登録できます。

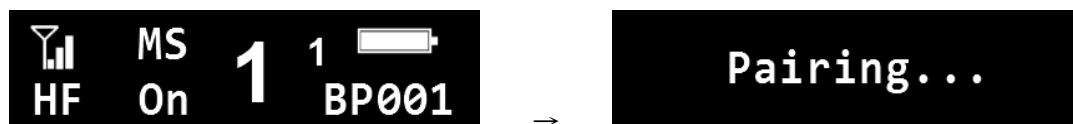
1. モバイルステーションのディスプレイにノーマルメニューが表示されていることを確認します。PWRボタンをホールドし、すぐにSETボタンをタップします。モバイルステーションのディスプレイに“Pairing…”と表示されたらPWRボタンから手を離します。

モバイルステーション



2. ベルトパックのディスプレイにノーマルメニューが表示されていることを確認します。PWRボタンをホールドし、すぐにSETボタンをタップします。モバイルステーションのディスプレイに“Pairing…”と表示されたらPWRボタンから手を離します。

ベルトパック



3. モバイルステーションとベルトパックのディスプレイ両方に“PairingCompleted”と表示されペアリングが完了します。

モバイルステーション



ベルトパック



モバイルステーション、ベルトパックのディスプレイ両方、または片方に“Pairing Failed”と表示された場合はペアリングに失敗しています。1～2の手順で再度ペアリングを行ってください。

モバイルステーション

----- ID:---
Pairing Failed

ベルトパック

BP--- ID:---
Pairing Failed

使用するベルトパックのLEDが緑色に点滅し、モバイルステーションとベルトパック間で通信が行えることを確認してください。

● バッテリー充電器

BATCHG125

バッテリーを装着した状態の子機をそのまま充電可能な5つのポートと、充電式バッテリー（BAT50）専用の2つのポートを備えた充電器です。

使い切った状態から4～4.5時間でフル充電されます。

BATCHG225

バッテリーのみを充電可能なポートを8つ備えた充電器です。

左側のスレッドには充電済みのバッテリーを保管できるようになっています。

故障の原因となりますので、充電する際は必ず子機の電源を切ってください。

• 充電器のLED表示について



CHARGING LED(充電LED)

赤色で点灯

充電しています。

赤色で点滅

充電に失敗しています。

緑色で点灯

充電が完了しています。



SENSING LED(検出LED)

黄色で点灯

バッテリーが挿入されていません。

黄色で点滅

バッテリーの温度が高くなっているため充電を停止しています。

各充電ポートの隣にあるSENSING LEDはポートが空の間、黄色く点灯しています。

各ポートにベルトパック、またはバッテリーが正しく挿入されると、該当するポートのSENSING LEDが消灯し、CHARGING LEDが赤く点灯します。

バッテリーが挿入された状態でSENSING LEDが黄色で点滅しているときはバッテリーの温度が高くなっていますので、充電器からバッテリーを取り出して冷却してください。

（SENSING LEDが黄色で点滅すると、自動的に充電を終了します。バッテリーを取り外すまで、LEDは点滅し続けます。）

充電が完了すると、CHARGING LEDが緑色に点灯します。

その他の詳しい操作については別紙「デジタルワイヤレスインターカムシステム 操作説明書」をご確認ください。

